

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月4日

上場取引所 東大

上場会社名 タカラスタンダード株式会社
 コード番号 7981 URL <http://www.takara-standard.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 岳夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役(経理部長) (氏名) 田中 茂樹
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日

TEL 06-6962-1531

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	120,710	—	5,167	—	5,396	—	2,895	—
20年3月期第3四半期	124,011	△0.7	5,059	△20.4	5,250	△17.7	2,821	△19.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	19.78	—
20年3月期第3四半期	19.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	184,473	—	116,564	63.2	—	—	796.43	—
20年3月期	187,437	—	117,046	62.4	—	—	799.63	—

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 116,564百万円 20年3月期 117,046百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	13.00	13.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	13.00	13.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

なお、20年3月期および21年3月期(予想)の期末配当金には、特別配当3円00銭を含んでおります。

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	160,000	2.9	4,700	36.9	4,800	36.7	2,600	68.4	17.76

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期	147,874,388株	20年3月期	147,874,388株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期	1,514,975株	20年3月期	1,499,264株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第3四半期	146,369,632株	20年3月期第3四半期	146,381,536株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年5月13日発表の連結業績予想は修正していません。上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期純利益 (百万円)
21年3月期第3四半期累計	120,710	5,167	5,396	2,895
20年3月期第3四半期累計	124,011	5,059	5,250	2,821
前年同期増減率	△ 2.7%	2.1%	2.8%	2.6%

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融市場の混乱や株価の下落、急激な為替変動などに加え、原油や原材料価格の高騰などの影響で企業収益が圧迫され、企業の設備投資の減少や雇用環境の悪化、個人消費の低迷など、景気の後退感が強くなってまいりました。

住宅市場におきましては、改正建築基準法施行の混乱が収束した後も、景気後退の影響により、新設住宅着工戸数は依然として低水準で推移しており、またリフォームにおきましても同様に盛り上がりを欠く状況でありました。また、厳しい価格競争や不動産市況の悪化など、住宅設備機器業界を取り巻く環境は大変厳しい状況が続きました。

このような状況の下、当社グループは新築需要・リフォーム需要の獲得による売上確保を図るべく「高品位ホーロー」、「耐震システムバス」、オーダー感覚でサイズが選べる「ぴったりサイズ」をキーワードに独自のホーロー技術を生かした商品開発を積極的に推し進めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高1,207億1千万円（前年同期比2.7%減）、営業利益51億6千7百万円（前年同期比2.1%増）、経常利益53億9千6百万円（前年同期比2.8%増）、四半期純利益28億9千5百万円（前年同期比2.6%増）となりました。

なお、連結経営成績に関する定性的情報の前年同期増減率は参考として記載しています。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ29億6千4百万円減少し、1,844億7千3百万円となりました。主な増減は流動資産では、現金及び預金の増加25億7百万円、受取手形及び売掛金の増加35億1千4百万円、商品及び製品の減少65億9千9百万円など、固定資産では、有形固定資産の減少9億9千9百万円、投資その他の資産の減少17億9千5百万円であります。

負債は、前連結会計年度末と比べ24億8千2百万円減少し、679億8百万円となりました。主な増減は流動負債では、短期借入金の増加38億円、コマーシャル・ペーパーの増加10億円、1年内償還予定の社債の減少50億円など、固定負債では、退職給付引当金の増加4億6千8百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ4億8千1百万円減少し、1,165億6千4百万円となりました。主な増減は、利益剰余金の増加9億9千2百万円、その他有価証券評価差額金の減少14億6千5百万円であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年5月13日に発表致しました連結業績予想については現時点で変更ありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。この変更に伴う損益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,487	25,980
受取手形及び売掛金	49,627	46,112
商品及び製品	9,066	15,665
仕掛品	1,300	1,172
原材料及び貯蔵品	2,350	2,269
その他	3,584	3,027
貸倒引当金	△361	△160
流動資産合計	94,055	94,067
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	29,613	29,931
土地	35,856	35,772
その他（純額）	7,567	8,333
有形固定資産合計	73,037	74,037
無形固定資産	1,463	1,620
投資その他の資産		
投資有価証券	8,916	11,585
その他	7,006	6,134
貸倒引当金	△6	△8
投資その他の資産合計	15,916	17,711
固定資産合計	90,417	93,369
資産合計	184,473	187,437

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,072	29,398
短期借入金	9,900	6,100
コマーシャル・ペーパー	1,000	—
1年内償還予定の社債	—	5,000
未払法人税等	1,477	520
その他	6,883	10,281
流動負債合計	48,332	51,300
固定負債		
長期借入金	6,400	6,400
退職給付引当金	11,585	11,117
役員退職慰労引当金	615	597
その他	974	975
固定負債合計	19,575	19,090
負債合計	67,908	70,391
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,356	26,356
資本剰余金	30,736	30,736
利益剰余金	57,442	56,449
自己株式	△877	△869
株主資本合計	113,658	112,674
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,548	3,014
土地再評価差額金	1,357	1,357
評価・換算差額等合計	2,906	4,371
純資産合計	116,564	117,046
負債純資産合計	184,473	187,437

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	120,710
売上原価	81,308
売上総利益	39,402
販売費及び一般管理費	34,234
営業利益	5,167
営業外収益	
受取利息	116
受取配当金	217
その他	307
営業外収益合計	640
営業外費用	
支払利息	125
その他	286
営業外費用合計	412
経常利益	5,396
特別利益	
預託金償還益	11
特別利益合計	11
特別損失	
固定資産除却損	154
投資有価証券評価損	241
特別損失合計	395
税金等調整前四半期純利益	5,012
法人税、住民税及び事業税	2,411
法人税等調整額	△294
法人税等合計	2,117
四半期純利益	2,895

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表
(要約) 四半期連結損益計算書

科目	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)
	金額(百万円)
I 売上高	124,011
II 売上原価	83,142
売上総利益	40,869
III 販売費及び一般管理費	35,810
営業利益	5,059
IV 営業外収益	607
V 営業外費用	416
経常利益	5,250
VI 特別利益	—
VII 特別損失	323
税金等調整前四半期純利益	4,927
法人税等	2,105
四半期純利益	2,821